

① 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

17世紀から18世紀にかけて( A )が盛んに行われ、田畑の面積が100年ほどで約2倍に増えた。また a 農具の発明や改良が行われ、生産力が高まった。農業のほか漁業や鉱業も発達し、九十九里浜では大規模な( B )漁が行われ、佐渡の( C )や( D )の銀山などが開発された。産業の発達とともに b 都市が発展し、 c 交通も発達した。

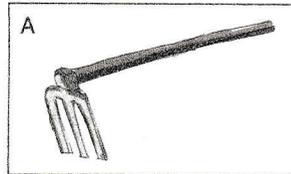
(1) 文中の A ~ D にあてはまる語句を右から選べなさい。

かつお 新田開発  
足尾 いわし  
金山 銅山 石見

A ( 新田開発 ) B ( いわし ) C ( 金山 )  
D ( 石見 )

(2) 下線部 a について、右の A・B の農具を何といいますか。またそのはたらきをア～ウから選べなさい。

- ア 米の選別ができる
- イ 脱穀が速くできる
- ウ 土を深く耕せる



A 名前 ( 備中ぐわ ) はたらき ( ウ )  
B 名前 ( 千歯こき ) はたらき ( イ )

(3) 下線部 b について、江戸・大阪・京都の主要都市を含めて何といいますか。

( 三都 )

(4) 下線部 c について、江戸・大阪間の舟丸路で、物資を運んだ船を2つ書きなさい。

( 菱垣廻船 ) と ( 樽廻船 )